

## 本時のねらい

自分が今熱中しているものを、相手に伝わりやすくプレゼンテーションしよう。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・事前学習としてカメラを使い、写真を撮り、プレゼンテーション資料として活用する。
- ・Keynote を使い、自分の考えや思いを画像やイラストとともにわかりやすく伝えられるようなプレゼンテーション資料や発表原稿を作成する。
- ・電子黒板にミラーリングでプレゼンテーション時や練習時に写し、発表者を意識して発表する。
- ・みんなの前で発表することに消極的な生徒でも、発表の動画撮影により何度もやり直しができるため、発表に取り組みやすくなるとともに、客観的に見ることで改善点を見つけて修正することができる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ カメラ ・ Keynote ・ Word ・ 電子黒板

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	○前時の振り返りをする。(プレゼンテーションのルール確認・前時の取組みを受けてのアドバイスなど) ○本時のねらい、流れを確認する。 本時のねらい：相手に伝わりやすくプレゼンテーションしよう 流れ：スライド作成→プレゼンテーション原稿作成→練習→推敲→発表 【写真 1】	・電子黒板で掲示しながら確認することで、視覚的な支援となる。
展開 (35 分)	○Keynote でプレゼンテーション資料を作成し、発表練習をする。【写真 2】 ○プレゼンテーション資料、原稿が完成したら、iPad で発表練習→電子黒板に写して撮影して練習 ○プレゼンテーション発表のアドバイスをもらい、推敲する。	・アニメーションをつけての強調や、写真を用いてイメージしやすくさせる。 ・Keynote のノート機能を使い、スライドの詳しい説明のプレゼンテーション原稿を打ち込む。 ・スライドとノートの両方を表示して自分で練習した後、電子黒板にミラーリングで表示して、リハーサルをする。その様子を iPad で録画して、発表者に見せて改善点を見つける。また、録画した人がどういった事をもっと知りたいかアドバイスを、参考にする。
まとめ (10 分)	○プレゼンテーションの様子を録画する。(他の学級でも同じように発表を録画する。) ○撮ったものを、鑑賞し、感想を Word に記入する。 【写真 3】	・電子黒板にミラーリングをして、発表する。 ・クラウド上の Word に記入させることで、他の学級の生徒が書いたものも参照できる。どのような事を書いたらいいかわからないというつまずきを解消できる。

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】電子黒板を使用した本時の流れの説明



【写真 2】keynote を使用したプレゼンテーション資料作成



【写真 3】他の学級の生徒が行ったプレゼンテーションの動画を鑑賞

## 児童生徒の反応や変容

- ・プレゼンテーション資料作成の時に、アニメーションをうまく活用して、伝えたい事を強調していた。
- ・リハーサルの時に自分のプレゼンを録画して見た事で、客観的な視点で改善点を見つける事ができていた。
- ・発表をみんなの前ですることが苦手な生徒が、発表を動画で撮る事で何度もやり直しできたため、安心して堂々と発表することができた。
- ・なかなか自分の考えや思いを言葉にして伝えることが苦手な生徒が、Keynote を使用して、自分の熱中しているものを画像やイラストを挿入して発表できたため、いつもよりたくさんの発表スライドや発表原稿を作成し、発表することができた。
- ・他の学級の発表を見て、感想も共有したことで、自分のプレゼンテーションの評価がわかり、発表に対する自信になった。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

初めての授業の時に教師がプレゼンテーションを例示したことで、生徒がイメージしやすくなるとともに、自分が興味のあるものに置き換えて資料を作れた。また、リハーサルの時に周りからアドバイスをしてもらうなど、社会に出てからも同じような手順で作成すればよいと実感できる体験もする事ができた。